

# 条幅部漢字課題参考

(一月二十二日締切)

A 鈴木静村書

海上閑雲孤鶴夢 山頭積雪野梅香 (唐仲冕) 楷書  
海上の閑雲孤鶴の夢、山頭の積雪野梅の香。



B 高橋香樹先生書

新向きの詩句を選び、心新たに楷書で表現とした。作例は掛けて見るに細身で弱い。みなさんはもっと強く力感を表出するように。海旁の形は古典に多い。母二点、古典ではほとんどノ。鶴偏の形は多い。鳥の連火一も可。夢私の好み、字典参照。香五画目は止めずに払って可。落款、硬さを解し行書で。落款、硬さを解し行書で。



今日は鍾繇の「薦季直表」を意識して書いてみました。「薦季直表」は、少し横長で、縦画はふくよか、転折ではひと呼吸おかげに運筆されています。  
改めて「薦季直表」を見ると、横画の角度・運筆が多様に変化しており、残念ながら中途はんぱに終わってしまいました。  
訳: 海の上を往来する静かな雲に一羽の鶴の夢がしのばれ、山の上の積雪には春知り顔に梅が咲くのである。

予告 (一月二十二日締切)

願君早悟玄中趣 學我優遊物外修 (無名人)

- ◆注意
  - ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

# 条幅部かな課題参考

(一月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

常盤なる松のみどりも春くれば今ひとしほの色まさりけり  
ときはなる松の美よりも春久連八今悲としほの色満さり希り  
(古今和歌集 源宗于)



B

長野悦子先生書

と支者奈る万つの三登利毛八るくれ盤い万悲とし保のいろ万さ里希り



源宗于 生年未詳

光孝天皇の孫。是忠親王

の子(三十六歌仙伝)寛平

六年(八九四)臣籍に下つ

て源姓を賜わる。丹波・攝

津・参河・信濃・伊勢など

の權守を勤め、正四位下右

京大夫に至る。紀貫之との

贈答歌があり親交が窺える。

また『伊勢集』に伊勢に贈った歌がある。

三十六歌仙の一人、小倉百人一首にも

歌を採られている。「冬の歌」山里は冬

ぞさびしさまさりける人めも草もかれぬ

と思へば(古今集三一五)家集(宗于集)

学び方

通釈:常に不变の松の緑も春が来ればさらに「際色」が濃くなるのだった。

右上に空間をとり三行書にしてみました。「と」は細く小さめに入り「支者奈る」で墨を出し「万つの」につなげます。「三登利毛八るくれ盤」を少々小さく渴筆で一行目にそわせ「い万」で墨を入れ三行目の「悲とし」へ筆圧を利かせ大きく右下へ。「保の」は渴筆で「し」にそわせ「いろ万さ里」で墨を入れてボイントにします。一、三行目がくつつきすぎないように注意して傾斜で「希り」と結びます。

がある。

予告 (二月二十二日締切)

かすまづは何をか春と思はましまだ雪きえぬみよしのの山 (続後撰和歌集)

## ◆注意

- 条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- 二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

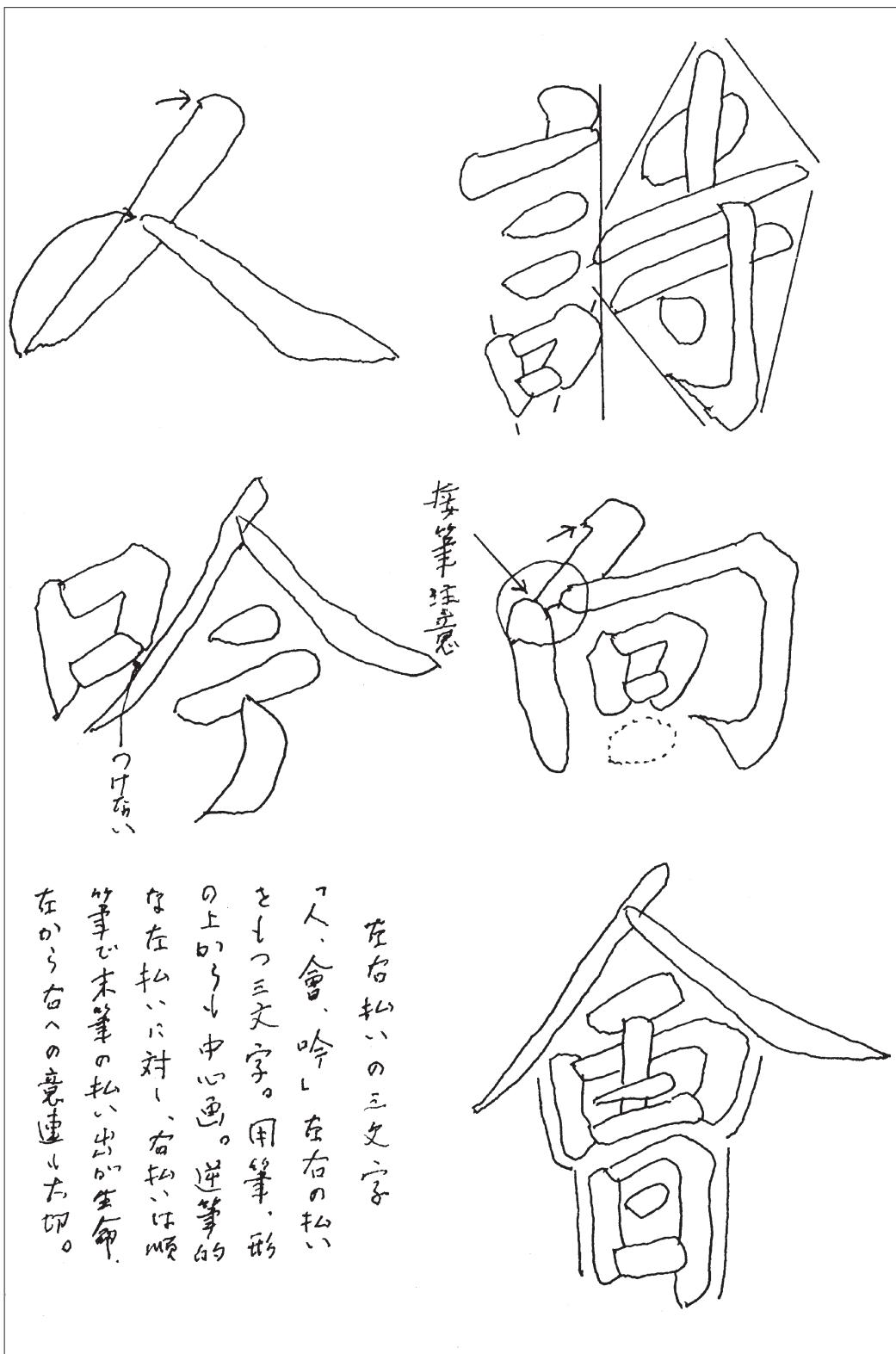
詩は會人に向いて吟ず。(中峯広録)



訳: 知音にあらざれば語らずの意。会人は我意を会する人。

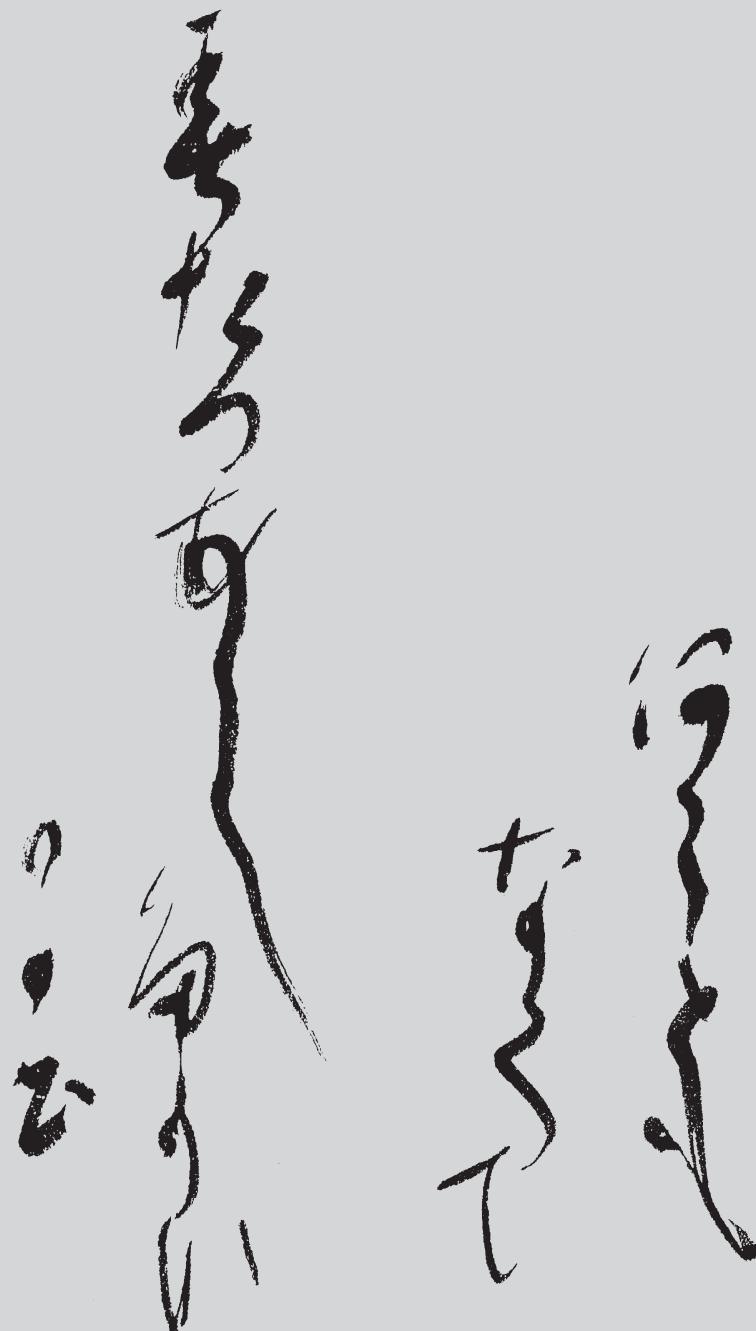
▼注意: はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①漢字部  
②支部名または都道府県名  
③氏名または雅号  
④新会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



平 岡 華 雪 先 生 書

何 こ も な く て 春 た つ あ し た か な (王 郎)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

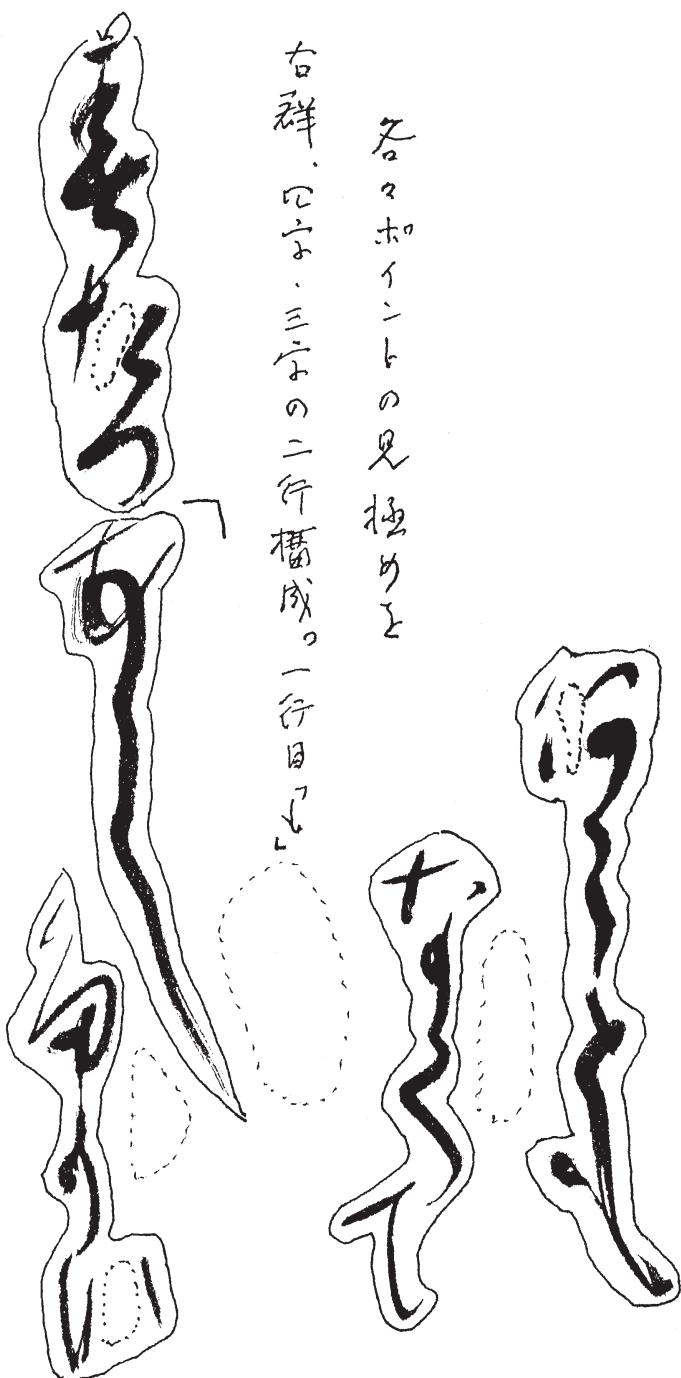
- ①かな部
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

# か な 部 課 題 参 考 解 説 鈴 木 静 村

解説 鈴木 静村

各々ホイントの見極めを

古群、宍宇、三字の二行構成。一行目

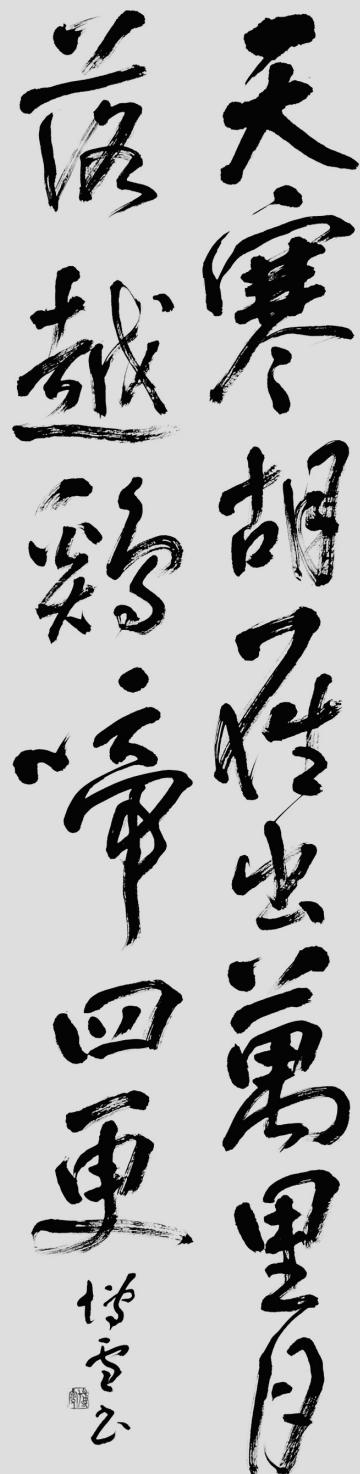


大きくな傾き二行目で左下に外へ軽く。——  
筆順は「左」。左辺は「左」墨送り、寧々の「多」「那」の筆順が左の  
三字連続の左辺の勝負どころ一。事前に單体練習で因縁化を。  
この三文字の表出はよって楷書の表出の一工夫……。

# 条幅部隨意参考

本田博雪先生書

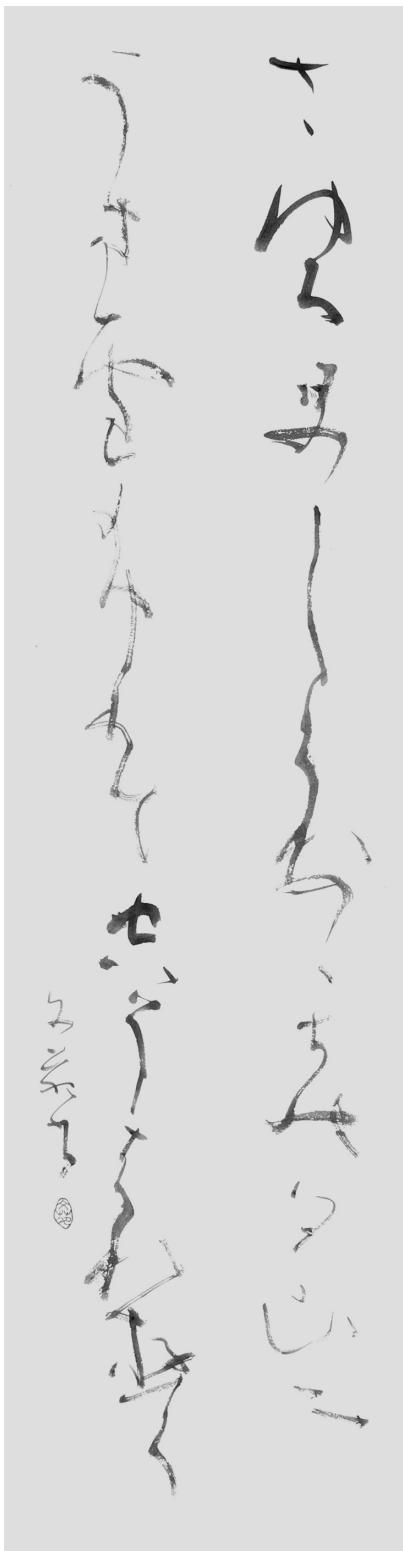
天寒胡雁出万里  
月落越鶴啼四更 (戴表元)  
天寒く胡雁万里を出で月落ち越鶴四更に啼く。



訳: 天寒く胡地の雁は万里の遠きを出で、月は沈み越地の鶴は夜明けの時を告げる。

良知文苑先生書

さゆる日の時雨の後の夕山にうす雪ふりて空ぞ晴れゆく (玉葉和歌集 藤原為兼)  
さゆる日のし久れの、ち能夕山二う寸雪布利て空曽者れ遊久



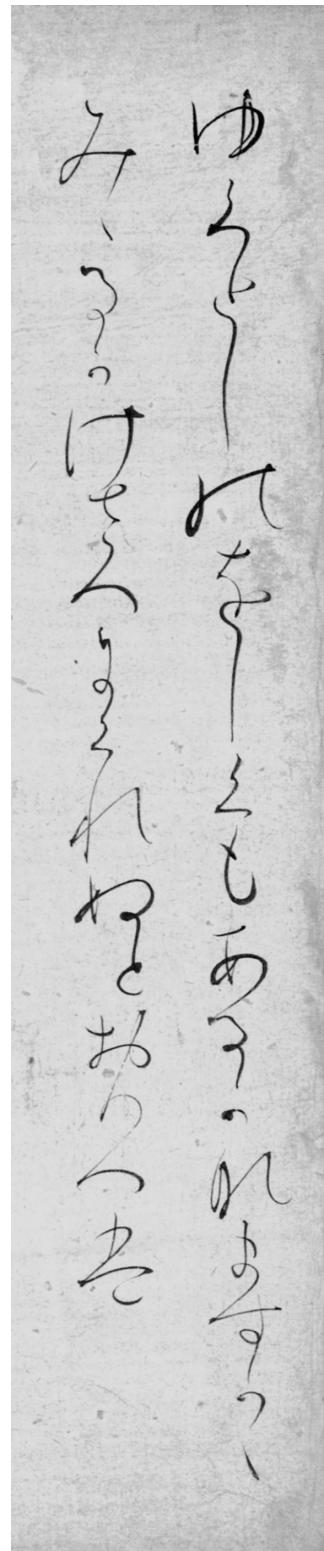
- ◆注意
  - ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み (1) と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み ( ) に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

# 条幅臨書部課題

北島青丘先生担当 粘葉本和漢朗詠集（上巻）

伝藤原行成筆

※条幅臨書部は出品料無料です。



ゆくとしのをしくもあるかなますか能可那み可那み能るかげさへにくれぬとおもへば

(二玄社)

(学び方)

「解説」

粘葉本和漢朗詠集は、紙の寸法に制限があったのか、三十一文字が二行に收められ、文字はや、扁平になっていきます。近代壁面芸術の盛んな時代にあって調和体、新和様等と呼ばれる近代詩文書が多く見られますですがその制作に、この古典は端然とし過ぎてはおりますが、いずれの書体でも古典の基礎は缺かせません。

忠実な臨書はそつくりであると同時に、形だけにとらわれる事なく線の質的追求を疎かにできません。それを汲み取る感性が必要と思われます。

(連綿の時間について)

粘葉本の連綿はあまり長くなく、連綿を切る事で広やかさを出していきます。行としてもあまり揺れを見せていません。平安後期に起ころる動的な古筆と比べて静かな表情を呈しています。



◎同じ太さをさけること

中心移動法

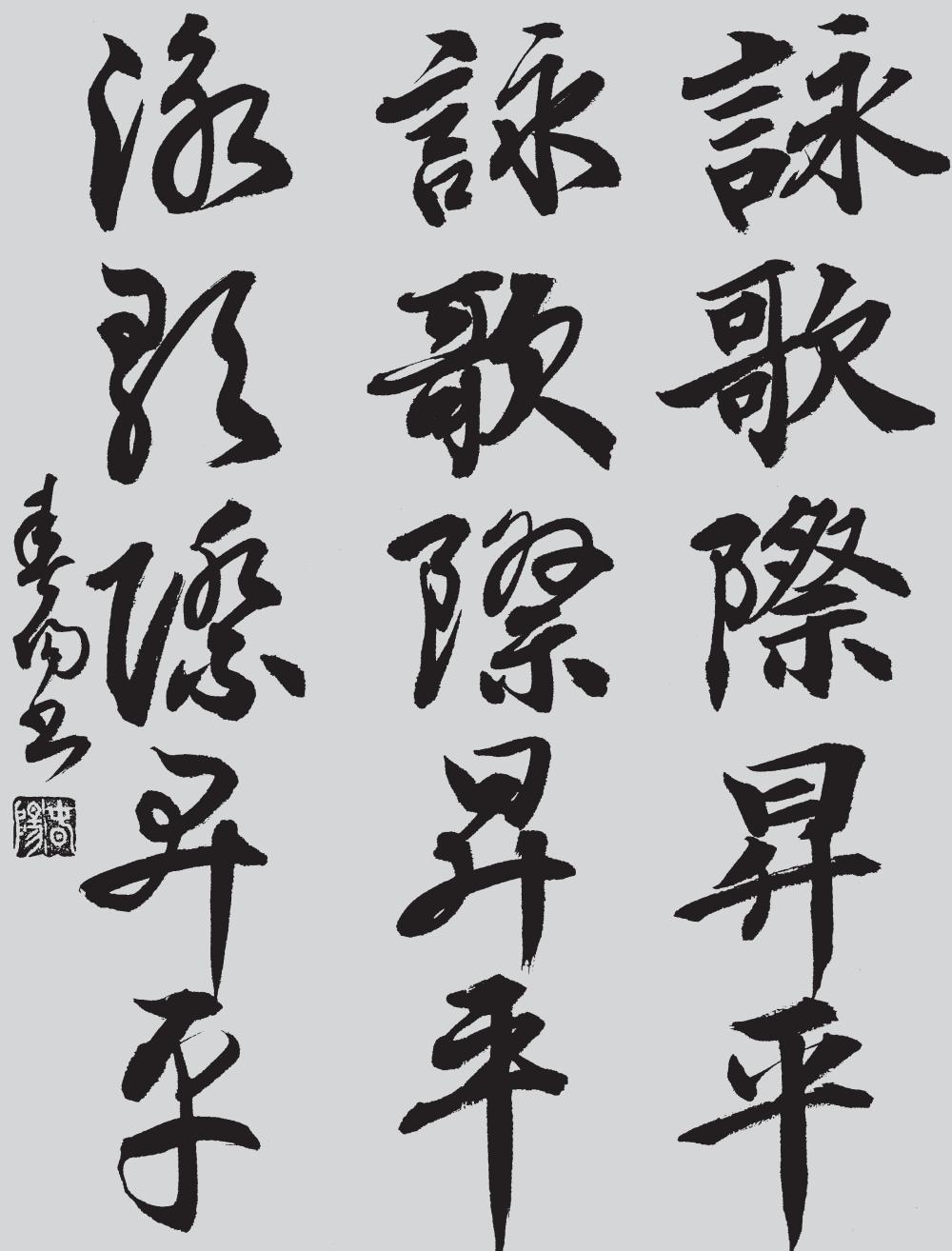
重くならない様に

◆注意　・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

## 楷、行、草、三 体 参 考

星  
野  
春  
陽  
先  
生  
書

詠歌  
昇平  
（董邦達）



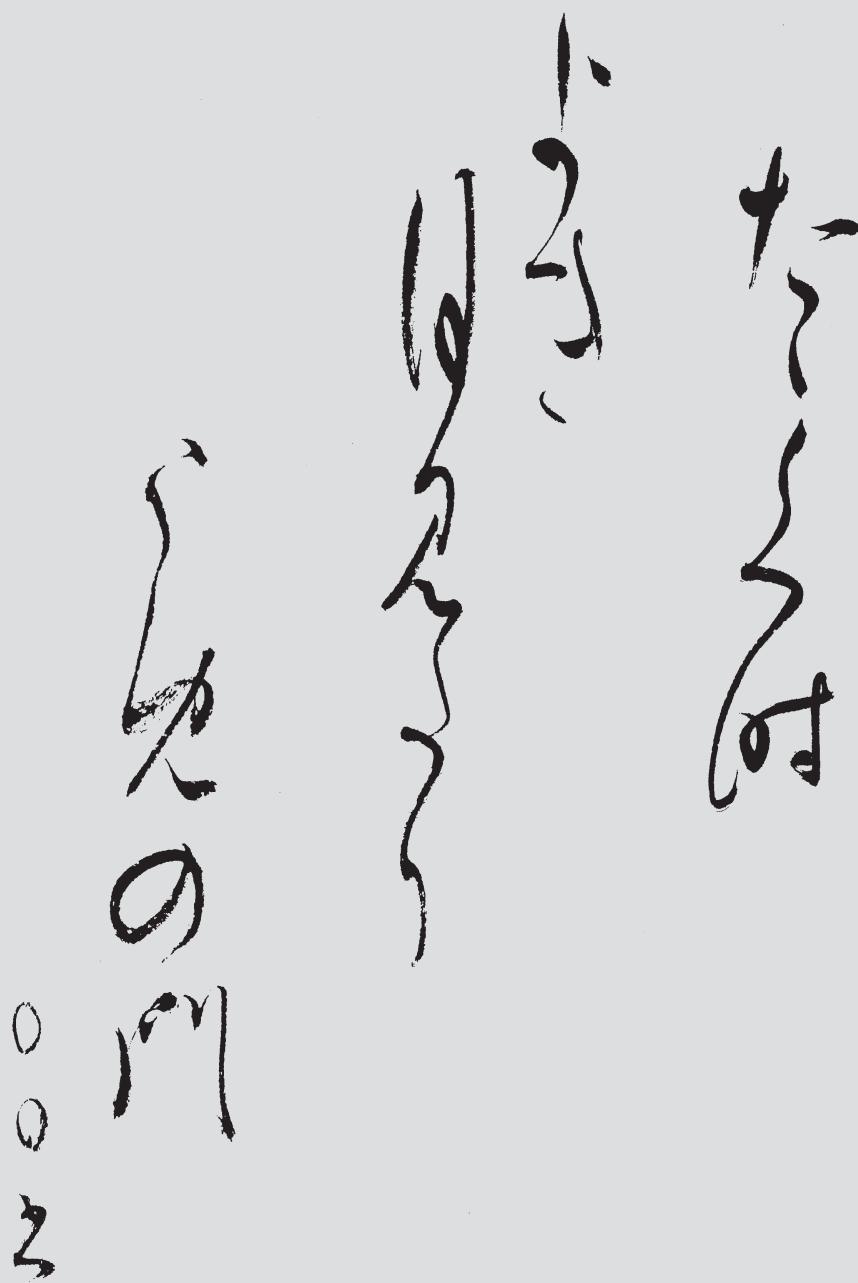
訳：詩歌うたい興じて時しも今は太平の御代である。

1. 隨意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

## 俳 句 参 考

高塚竹堂先生書

たたく時よき月見たり梅の門（其角）

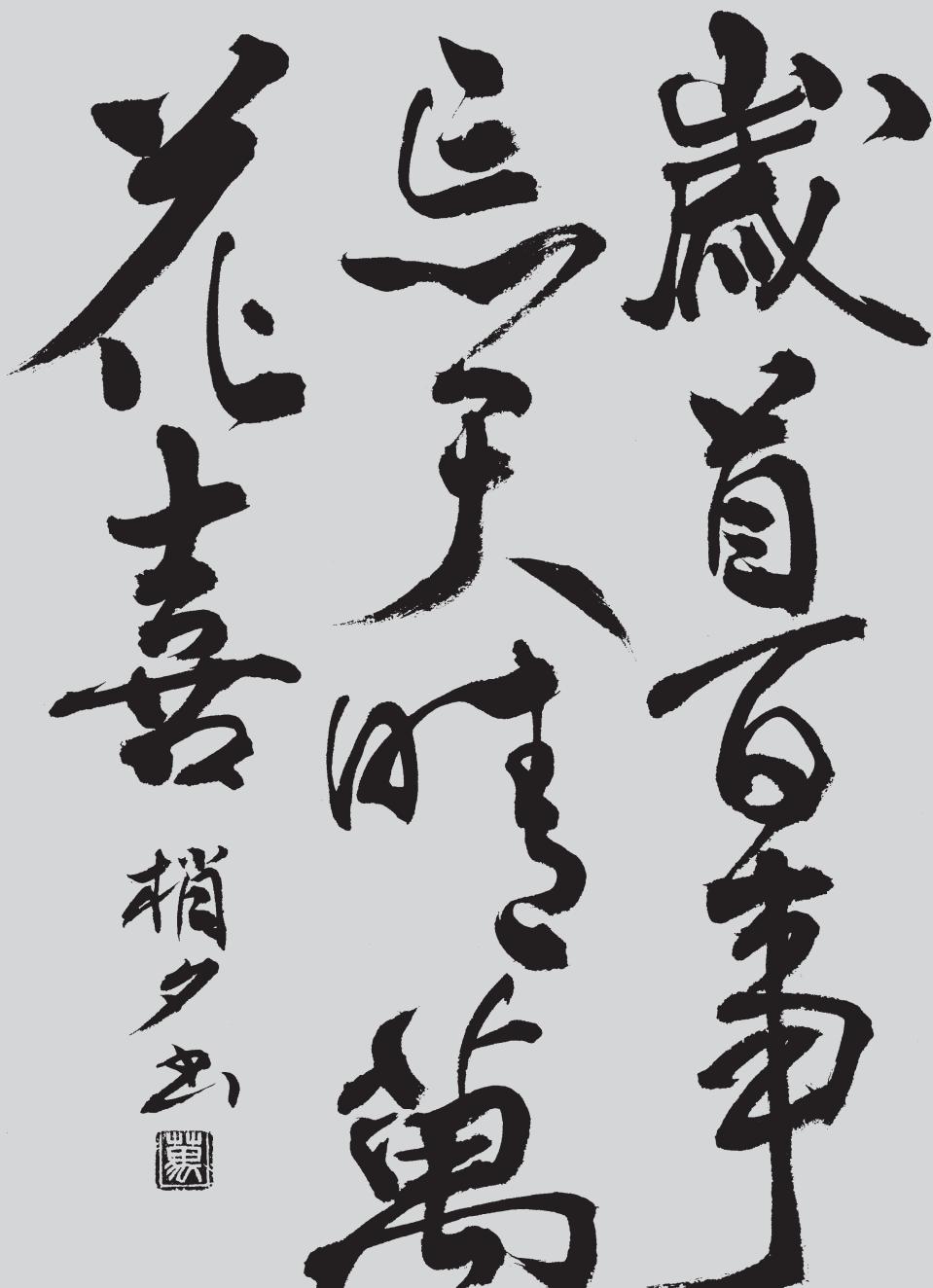


◆随意部参考として出品してください。

## 隨 意 部 參 考

横山梢夕先生書

歲首百事忘 天晴萬花喜  
歲首百事忘れ、天晴万花喜ぶ。  
(袁隨園)



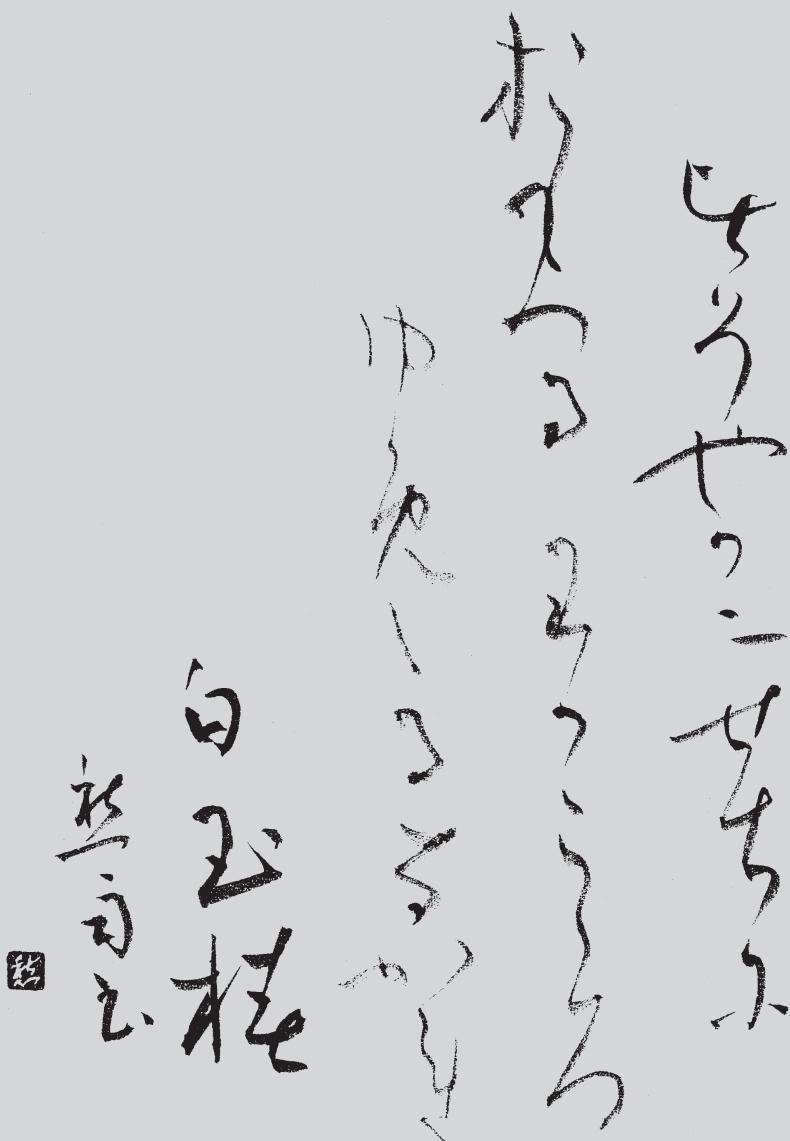
訳:正月にはめでたさに百事をうち忘れ、日和はよくして多くの花にも喜色が見える。

添削又は手本希望者は本会規定により、横山梢夕先生（〒410-0015 沼津市駿河台12-20）に直接お申し込みください。

## 隨 意 部 參 考

加 藤 愁 雨 先 生 書

ひそやかにせちにおもへるわがこころゆめ知るなかれ白玉椿  
ひそやかにせちにおもへるわがこころゆめ知るなかれ白玉椿  
比曾や可二せち専於もへる王可こゝろゆ免しるなか連白玉椿  
（岡本かの子）



添削又は手本希望者は本会規定により、加藤愁雨先生（〒252-0318 相模原市南区上鶴間本町2-17-16-419）に直接お申し込みください。

# 硬筆部課題参考 (一月二十二日締切)

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)

蒸溜したような純度の高い青空だ。  
風はない。一冬に一日か二日あるが、  
いかの穏やかで最良の日だった。

朝風に乗って、遠く小さく、悲壮な  
旅猿の叫びを伝えてくる。初の  
最初の鳴き声をきいた。

## 課題1 (初段以上)

彼らは灌木のかほくの小枝をゆるがす。冷たい朝風に乗って、遠く小さく、悲壮な断続的な叫びを伝えてくる。今年最初の鳴き声をきいた。

「午後の曳航」三島由紀夫

## ◆注意

(1) 自分の段級に合った課題を選択。  
(2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。

(3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。(1)硬筆部(2)支

(3) 部名または都道府県名(4)氏名または雅号(新)

会員は無料・会員外は400円添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)

課題1 六〇〇円

課題1 石原春香先生 〒三七〇一〇〇八七

課題2 高崎市楽間町二三四ノ二一

課題2 松浦江波先生 〒五三一〇四三

相模原市緑区橋本六四二ノ一九

課題2 (初段格以下)

蒸溜したような純度の高い青空だ。風はない。一冬に一日か二日あるが、いかの穏やかで最良の日だった。

「月光のさざ波」立松和平